

平成28年9月2日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信  
(コード: 6267 東証JASDAQ・名証第二部)  
問い合わせ先 専務取締役 小関 幸太郎  
電話番号 0568(23)3111(代表)

## 平成28年7月期業績予想と実績との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成27年9月1日付当社「平成27年7月期決算短信[日本基準](非連結)」にて公表いたしました平成28年7月期(平成27年8月1日～平成28年7月31日)の業績予想と本日公表の実績に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、剰余金の配当(期末)について、平成28年10月25日開催予定の第55期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想と実績との差異

平成28年7月期通期個別業績予想数値と実績との差異  
(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年9月1日発表)	百万円 5,000	百万円 248	百万円 250	百万円 165	円 銭 92.83
今回実績(B)	5,044	331	332	232	130.63
増減額(B-A)	44	83	82	67	—
増減率(%)	0.9	33.4	33.0	40.7	—
(ご参考)前期実績 (平成27年7月期)	5,411	314	319	224	126.28

※平成28年2月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### 2. 業績予想と実績との差異の発生理由

売上高につきましては、ほぼ前回発表予想通りとなりました。

利益面につきましては、増収及び利益率の向上に伴い売上総利益が計画より増加したことに加え、研究開発費等の減少に伴い販売費及び一般管理費が計画を下回ったことから、営業利益は前回発表予想から83百万円増加し、経常利益は前回発表予想から82百万円増加する結果となりました。

当期純利益につきましては、税金費用の調整の結果、前回発表予想から67百万円増加する結果となりました。

### 3. 剰余金の配当(期末)の実施について

#### 剰余金の配当(期末)の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 27 年 9 月 1 月公表)	前期実績 (平成 27 年 7 月期)
基準日	平成 28 年 7 月 31 日	同左	平成 27 年 7 月 31 日
1 株当たり配当金	27 円 00 銭	17 円 50 銭	5 円 00 銭
配当金総額	47 百万円	—	44 百万円
効力発生日	平成 28 年 10 月 26 日	—	平成 27 年 10 月 26 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

※平成 28 年 2 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。株式併合前に換算いたしますと平成 28 年 7 月期の 1 株当たり期末配当金は 5 円 40 銭となります。

### 4. 修正の理由

当社は、安定配当を堅持しつつ、業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。

平成 28 年 7 月期の期末配当につきましては、1 株当たり 17 円 50 銭の予想としておりましたが、業績が前回発表予想に対して増益となったことから、1 株当たり 27 円に修正いたします。

なお、株式併合前の平成 28 年 1 月 31 日を基準日として 1 株当たり 3 円 50 銭の中間配当金を実施しておりますので、平成 28 年 7 月期の年間配当金は、株式併合前に換算いたしますと中間配当金 3 円 50 銭と期末配当金 5 円 40 銭を合わせた 1 株当たり 8 円 90 銭、株式併合後に換算いたしますと、中間配当金 17 円 50 銭と期末配当金 27 円を合わせた 1 株当たり 44 円 50 銭となります。

以 上